

# 四日市ケミカルステーション ご紹介資料

- I. 会社概要・アクセス
- II. ケミカルワークステーション(CWS)事業説明  
関連設備のご紹介
- III. タンクコンテナの利用



# 1. 四日市ケミカルステーション株式会社(YCS)

## 【四日市ケミカルステーション株式会社】 (Yokkaichi Chemical Station)

設立年月日 : 2017年 7月 3日  
本社所在地 : 三重県四日市市大井の川町 2-1  
(三菱ケミカル物流(株) 中日本支社(三重)内)  
代表者 : 代表取締役社長 竹内 慎 (従業員 : 1名)  
事業内容 : 液体化学品を取扱う業務 (加温、保管、詰替等)  
資本金 : 6,000万円  
出資比率 : 三菱ケミカル物流株式会社 65 %  
日本トランスシティ株式会社 35 %

## 【三菱ケミカル物流株式会社】

設立年月日 : 1956年12月 1日  
本社所在地 : 東京都港区芝大門  
代表者 : 代表取締役社長 相川 幹治  
従業員 : 1,491名  
資本金 : 1,500 百万円  
事業内容 : 貨物利用運送事業、倉庫業  
内航海運業、3PL事業、タンク事業 他  
株主 : 三菱ケミカル株式会社 100 %

## 【日本トランスシティ株式会社】

創業年月日 : 1895年 7月12日  
本社所在地 : 三重県四日市市霞  
代表者 : 代表取締役社長 安藤 仁  
従業員 : 2,492名(連結)  
資本金 : 8,428 百万円  
事業内容 : 倉庫業、港湾運送業、  
貨物自動車運送業、通関業、他  
株式 : 東証(プライム)、名証(プレミア)

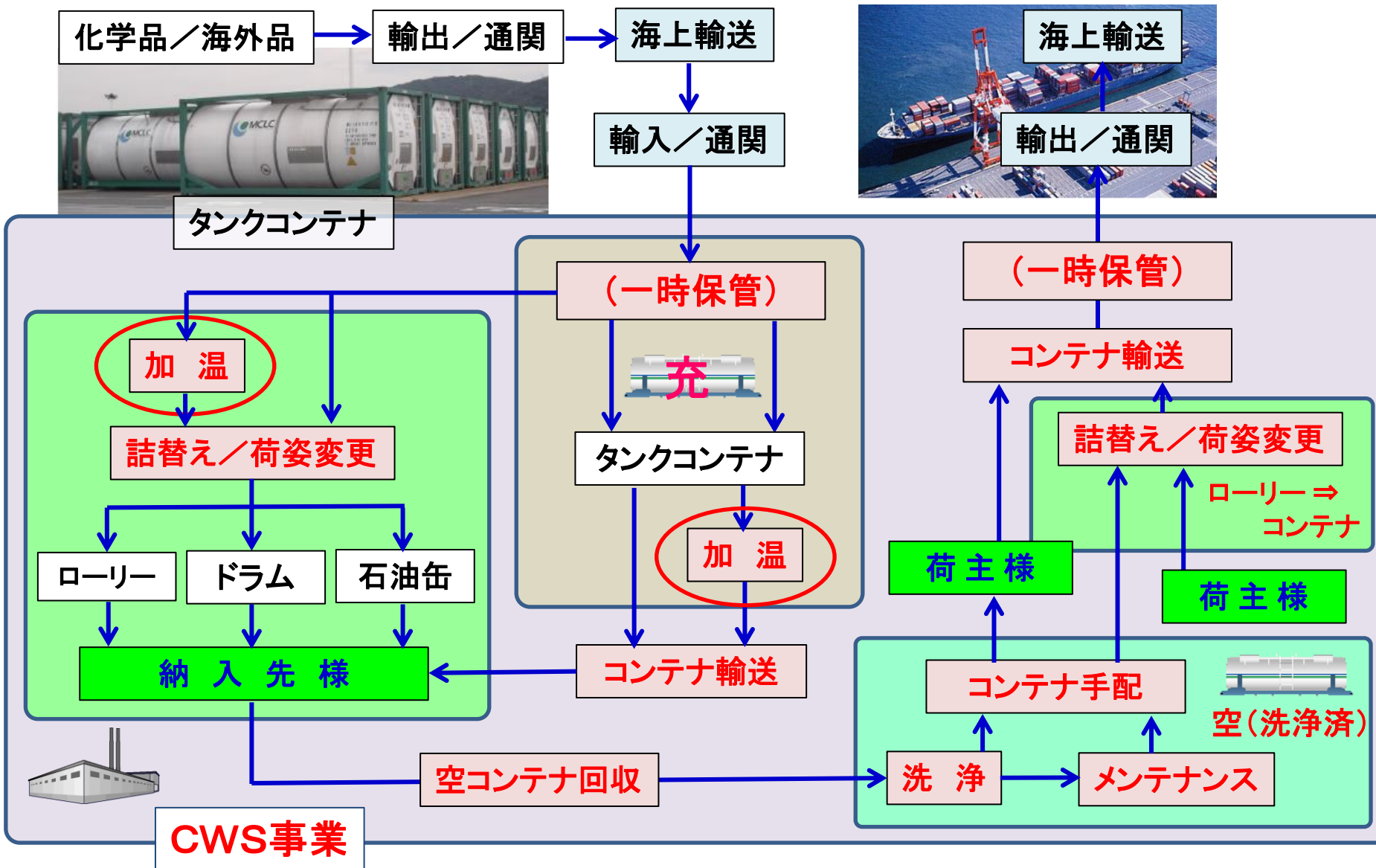
## 2. アクセス



# 3. ケミカルワークステーション(CWS)事業の概要

**CWS** (ケミカルワークステーション) 事業

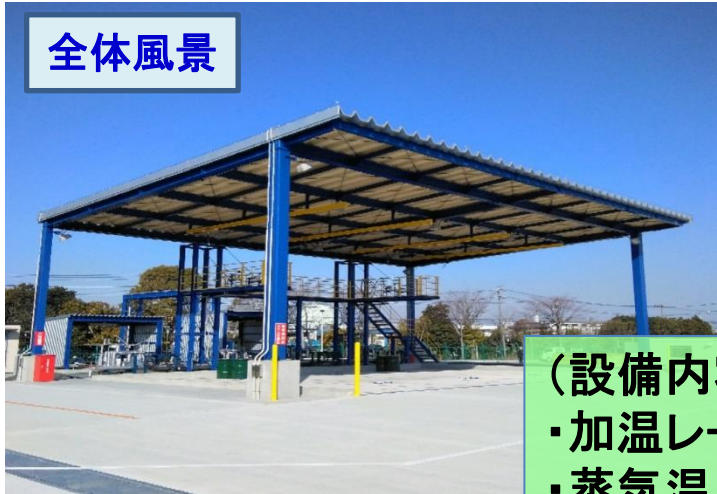
化学品コンテナ輸送の様々なニーズにお応えします。





# 4. タンクコンテナ加温設備

全体風景



車搬入



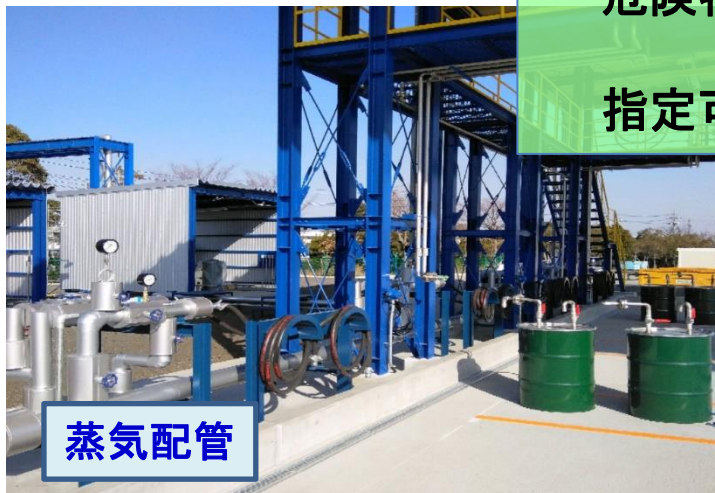
## (設備内容)

- ・加温レーン: 4レーン(シャシ付加温)
- ・蒸気温度: 約130℃
- ・窒素封入設備あり
- ・基本稼働時間: 8:30~17:00
- ・輸送便手配可、待機場所2レーン
- ・取扱い物質

危険物第4類 第3石油類  
第4石油類

指定可燃物

蒸気配管



窒素封入



# 5. 【CWS関連設備】タンクコンテナ保管エリア

## 【バンプール概要】

所在地：三重県四日市市浜園町

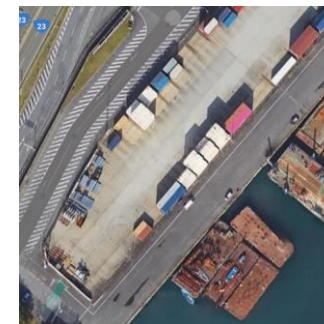
最大保管数：240コンテナ

保有設備：リーチスタッカー  
(最大荷重：45t)

保管可能貨物：一般貨物  
指定可燃物



【日本トランスシティ社運営設備】



©2018 GoogleMap

# 6.【CWS関連設備】危険物倉庫

## 【危険物倉庫例・概要】

●所在地：三重県四日市市

### <常温危険品倉庫>

危険物第4類 第1～4石油類  
アルコール類

設定温度 +15℃ (140坪)  
+5℃ (60坪)

### <低温危険品倉庫>

危険物第4類 第1～4石油類  
設定温度 +5℃ (300坪)  
-15℃ (600坪)

荷姿：ドラム・缶・IBC(1m<sup>3</sup>)

●所在地：三重県亀山市

### <低温危険品倉庫>

危険物第4類 第1～4石油類  
設定温度 +5℃ (600坪)

荷姿：ドラム・缶・IBC(1m<sup>3</sup>)



©2018 GoogleMap



# 7. タンクコンテナを利用したケミカル物流

「必要なモノを必要な時に必要なだけ」お届けします。

## 【タンクコンテナの活用例】

1. 油槽船による輸入 ⇒ タンクコンテナによる輸入
2. タンクコンテナによる大量購入（必要量の小分け）

## 【四日市ケミカルステーション 加温設備の特徴】

1. 出資会社による物流支援体制
2. 安定したユーティリティの供給（三菱ケミカル 三重事業所内設置）
3. 四日市地区の特徴を活かした物流ネットワーク
  - a. 四日市港の活用
  - b. 拡がる高速道路網

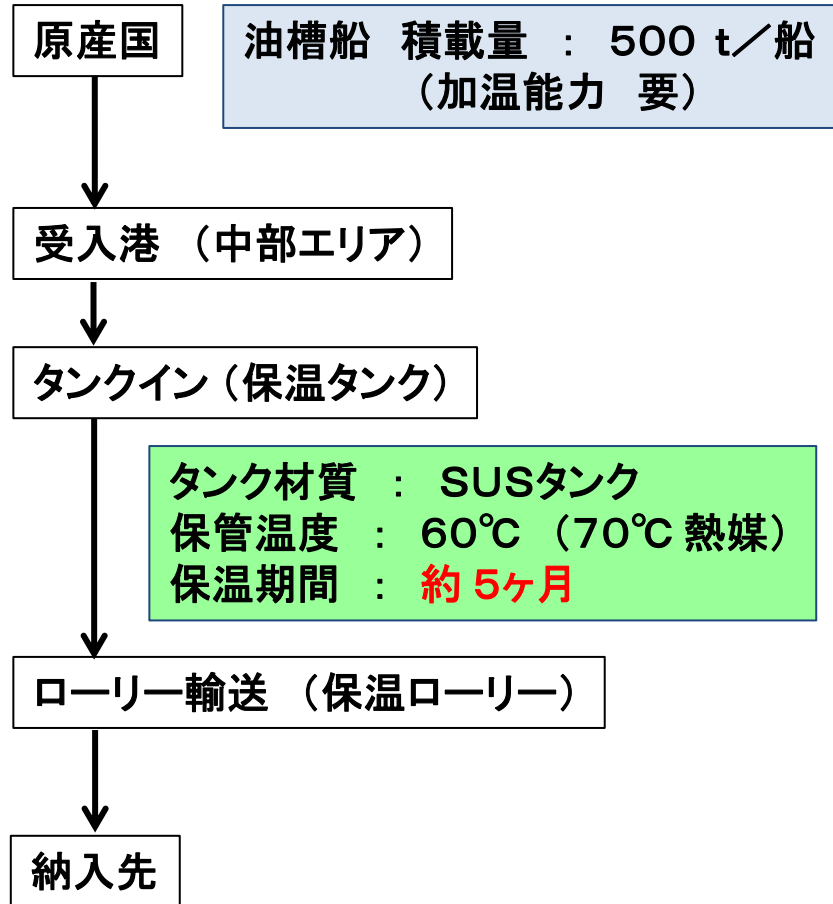


# 8. タンクコンテナによる効率化案件例(1)

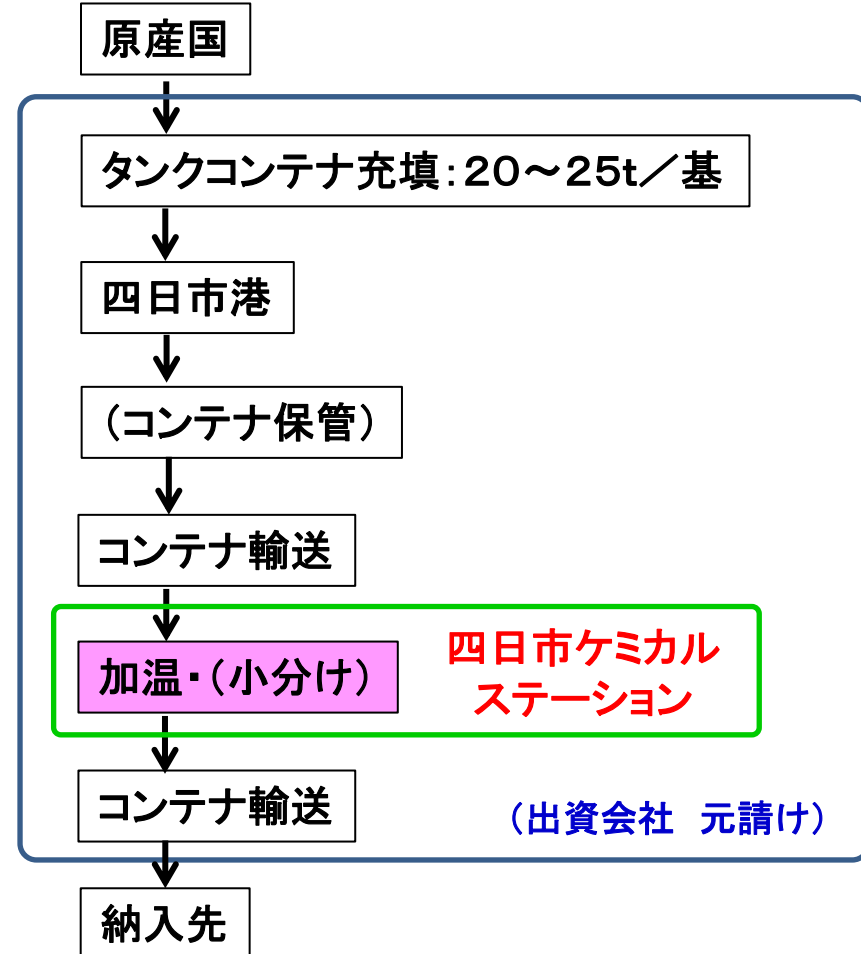
汎用ケミカル原料 (使用料: 100t/月)  
凝固点: 50°C (指定可燃物)

- ・「必要なモノを必要な時に必要なだけ」調達可能
- ・原料品質の安定化 (熱履歴が少ない)
- ・エコ物流に貢献; 原料使用時のみ加温

## 【油槽船利用】



## 【タンクコンテナ利用】

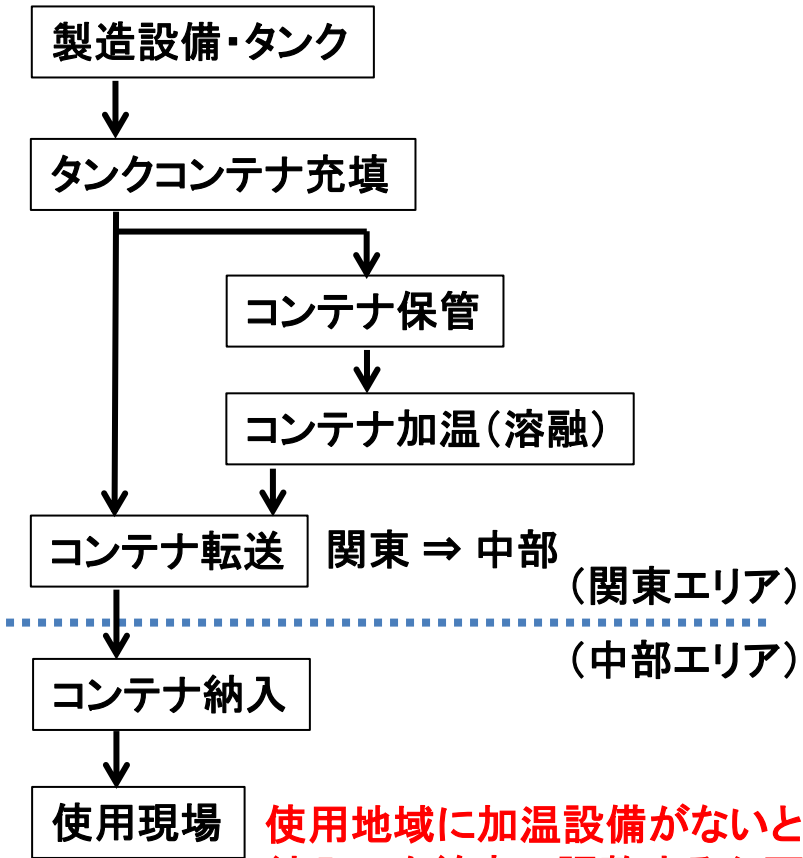


# 9. タンクコンテナによる効率化案件例(2)

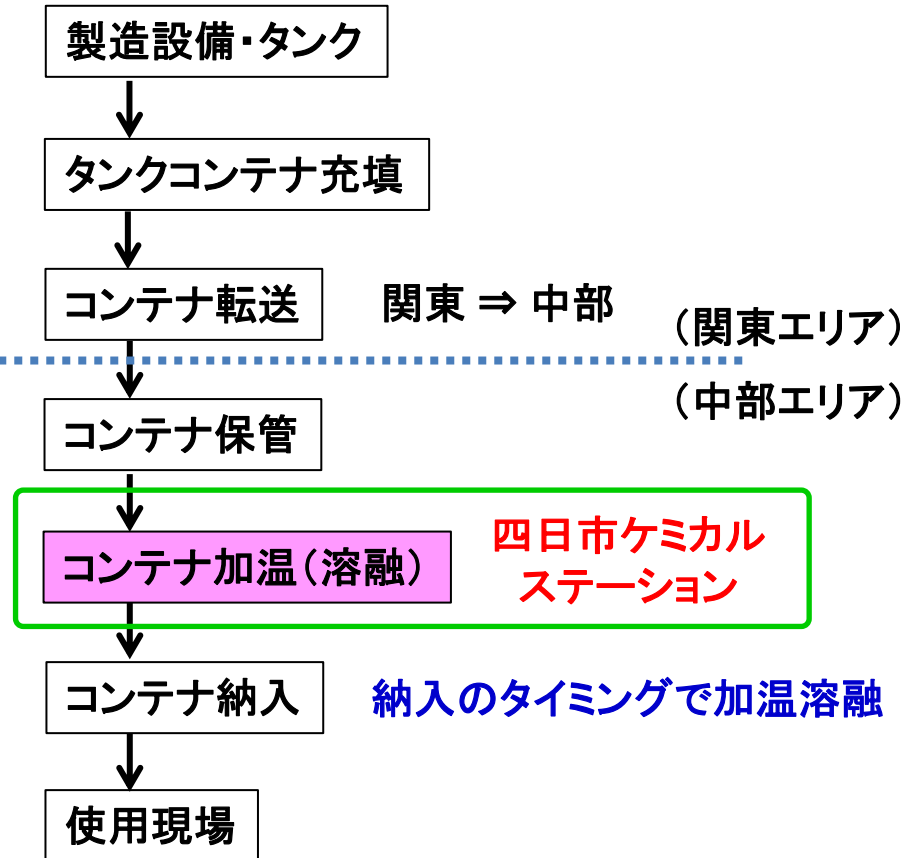
汎用ケミカル原料 凝固点:40°C (指定可燃物)  
製造地区:関東エリア 使用地区:中部エリア

・原料手配に関してフレキシブルな対応が可能  
都合の良いタイミングで充填・転送  
納入に合わせて加温・溶融

## 【製造地区加温】



## 【使用地区加温】



使用地域に加温設備がないと  
納入日を綿密に調整する必要がある  
(例: 充填から4日以内に納入)

# 10. 大量購入による効率化(準備中)

原産場所・生産場所 タンクコンテナ使用: 20~25t/基

四日市港・四日市エリア

コンテナ保管 バンプール

コンテナ輸送

**加温** 四日市ケミカル  
ステーション

「必要なモノを必要な時に必要なだけ」  
タンクコンテナで四日市エリアに持ち込んだ  
化学品を加温・保管・小分け・移し替えなどの  
作業により効率的にお届けします。



移し替え  
(ローリー・IBC)

小分け  
(ドラム・缶・IBC)

コンテナ輸送

納入先

(出資会社 元請け)



輸送

納入先

輸送  
納入先

保管  
輸送  
納入先



危険物倉庫

以上